

金沢営農テレホンサービス④（JA金沢市）

放送期間 平成29年5月16日～平成29年6月20日

放送内容 田植後の水管理及びと中干しについて

こちらは金沢営農テレホンサービスです。今回は田植後の水管理及びと中干しについてお知らせいたします。

田植後の水管理は、田植から4～5日間はやや深水としますが、その後は日中浅水管理に努め、初期分けつの発生を促進してください。

また、気温が高くなると、稲わらの腐熟によるガスが発生しやすくなるため、中干しまでに2～3回軽い田干しをしましょう。

次に、中干しですが、田植後1ヶ月を目安に、コシヒカリで1株当たり茎数が、14～15本程度、ゆめみづほで17～18本程度になった時点で開始してください。4月末から5月初めの田植で、6月1日頃からとなります。

なお、中干しやその後の間断通水を容易に実施するために、溝きりを事前に実施してください。

中干しの期間は、ゆめみづほで6月末頃まで、コシヒカリで7月5日頃まで実施します。

次に、スーパーけいさんの施用ですが、根の活力向上と倒伏防止、登熟向上のために、ゆめみづほなど早生品種は6月10～20日、コシヒカリなど中生品種は6月15～30日に施用してください。

詳しくは、営農だより第3号を参考にしてください。

以上、田植後の水管理と中干しについてお知らせいたしました。